

## ■西松Green Way ～2021年度実績と2022年度の目標～

2016年度から、中期経営計画や「エコ・ファーストの約束」の達成に向けた環境施策全般を「西松Green Way」として一つにまとめ、管理しています。

※CO2排出量の算定は日建連指定のCO2排出係数による

環境方針	環境目的	目的指標	2021年度		2022年度
			実績	達成度 評価※a	目標
地球温暖化 防止	施工における CO2排出量の削減	施工におけるCO2削減量 (再エネ電力・BDF・K-S1・N-TEMS・太陽 光発電の導入による削減量合計)	3,188t-CO2削減 (目標 2,399t-CO2削減)	◎	4,572t-CO2削減
		施工における CO2総排出量 (2021年度以降、施工におけるCO2排出 量の対象となるエネルギーを、電力、建 設機械の軽油、重油、ガソリン、灯油に 変更する。)	52,140t-CO2 (目標 59,258t-CO2)	◎	62,145t-CO2
		※参考: 施工における 再エネ電力導入率	施工における再エネ電力導入率 2% (目標 2%)	◎	施工における再エネ電力導入率 10%
	施工以外の CO2排出量の削減	オフィス(施工以外) におけるCO2排出量	1,377.2t-CO2 (目標 1,264t-CO2)	○	1,194t-CO2
		※参考: 社屋における 再エネ電力導入率	施工における再エネ電力導入率 17.38% (目標 15%)	◎	施工における再エネ電力導入率 20%
		ZEBに向けた 設計技術の確立 (オフィスの設計段階での CO2削減) ①設計案件でのCO2削減 ②ZEB及び新しい環境建築にお ける取組	①CASBEE評価における設計段階で のLCCO2 22%削減(目標:25%) ②愛川技研空調改修における要素 技術の試行、WELL認証プラチナ取 得(目標:WELL認証取得)	×  ◎	①CASBEE評価における設計段階で のLC CO2 23.5%削減 ②自社案件での技術試行 1件
	スコープ3の把握	環境省の「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン」を参考に、 自社の事業活動範囲外での間接的CO2排出量(スコープ3)について把握し、公表する。			
	環境法令順守	環境法令に関する 行政指導	2件 (目標:—)	—	ゼロ
生物多様性 保全	工事中の生物多様性保全	生物多様性配慮事項対応現場 数	全現場 (目標 全現場)	◎	全現場
	生物多様性保全に関する 意識の高揚	生物多様性保全活動の開催数 (現場の活動を除く)	年間9件 ※累計28件 (目標 年間2件以上)	◎	年間2件以上
循環型社会の 構築	廃棄物ゼロエミッション	最終埋立て処分率 ※b <div>最終埋立て処分量(t) 建設副産物発生量(t)</div>	2.1% (目標 2.1%以下)	◎	2.1%
		電子マニフェスト導入率 <div>—電子マニフェスト経路数—</div>	100% (目標 100%)	◎	100%の維持
環境教育を推 進し、全職員の 環境意識の向 上と共有を図る (グループ企業 を含む)	社員の環境意識・知識 の向上	外部環境表彰や認定の年間表 彰／認定数	年間3件 ※累計30件 (目標 年間1件以上)	◎	年間1件以上 ※累計31件
		eco検定合格者数 (社員におけるeco検定合格者の 割合)	累計87.6% (目標 90%) 累計実績:2,510人 (累計想定 2,606人)	○	90%
		環境セミナーの実施回数(全社)	コロナ感染防止の観点から実施でき ず	—	年1回以上実施

※a: ◎達成(100%)／○ほぼ達成(達成度90%超)／×未達成

※b: 2017年度までは、建設汚泥、特別管理産業廃棄物、石綿含有建材など特殊なものを除く。

2018年度以降は、建設汚泥を含み、特別管理産業廃棄物、石綿含有建材など特殊なものを除く。